

2019年度 中学入試概況

今年度の応募者数は、第1回が393名、第2回が716名で、のべ1109名でした。また、両回出願者は278名でした(昨年は第1回が402名、第2回が652名、のべ1054名。両回出願者は257名)。今年度は2回の入試の定員の配分を変更し、第1回を約120名、第2回を約60名として第1回の人數配分をより多くしました。のべ人數では昨年より多くの受験生に応募いただきましたが、第1回入試の応募者が微減となりました。今後もさらに魅力的な教育を展開するため改善を続け、皆様に本校の教育により興味を持っていただけるよう努力する所存です。現在、新学習指導要領実施に向けて新たな教育課程の準備を進め、それとともに本校における授業内容・学びの内容を再点検し、これらの改善と向上を目指しております。また、変化が予想される大学入試改革への対応も迅速に行うべく研究を続けております。

地域別の応募者数の割合は、第1回は多摩地区57.0%(224名)、23区21.9%(86名)、神奈川県14.2%(56名)、埼玉県4.8%(19名)、他府県・外国1.8%(7名)でした。第2回は多摩地区51.8%(371名)、23区27.4%(196名)、神奈川県12.6%(90名)、埼玉県6.1%(44名)、他府県・外国が2.0%(14名)でした(百分率%は小数第2位を四捨五入)。昨年度は神奈川県と埼玉県で受験減となりましたが、今年度はこの両県で受験者増となりました。引き続きより広い地域から本校を選んでいただけるよう教育内容の刷新に努めてまいります。

1月31日の夜に降雪の予報がありましたが、2月1日は予定通りに行うことができました。2月2日も天候に恵まれ、予定通りの実施となりました。インフルエンザに罹患した受験生も別室で受験できるように対応いたしました。

合格者最低点は、第1回が190点、第2回は211点でした(昨年度の第1回は188点、第2回は194点。満点は320点)。入試問題作成にあたる姿勢、設定している難易度や出題内容は例年通りでしたが、結果は昨年とは異なるものとなりました。以下の表からも分かるように第1回、第2回ともに昨年度に比べ、国語の平均点は上がり、社会・理科(第2回の理科の平均点は上昇)は昨年並みであった一方で、算数においては下がりました。こうした結果を踏まえつつ、本校での学びにおいて期待する、身につけた知識を状況に合わせて活用しながら思考を深めていく、また局所的ではなく全体を見通した上で解答にたどり着くことを期待する問題の作成を来年度も目指してまいります。

2019年度入試

募集人員 第1回約120名 第2回約60名

応募人員 第1回393名 第2回716名

欠席者数 第1回39名 第2回190名

受験者数 第1回354名 第2回526名

合格者数 第1回160名 第2回242名

合格最低点 第1回190点(得点率59.4%) 第2回211点(得点率65.9%)

受験者平均点

第1回 国語 57.1点 算数 51.4点 社会 40.5点 理科 33.9点 合計 182.9点

第2回 国語 61.1点 算数 58.0点 社会 44.9点 理科 39.8点 合計 203.8点

合格者平均点

第1回 国語 61.5点 算数 63.0点 社会 43.6点 理科 38.5点 合計 206.6点

第2回 国語 67.5点 算数 71.4点 社会 49.4点 理科 44.6点 合計 232.9点